

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岩手県 軽米町

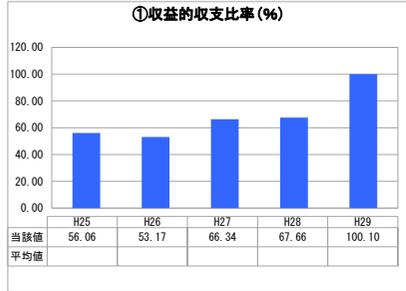
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	29.60	97.07	4,320

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,399	245.82	38.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,758	0.94	2,934.04

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



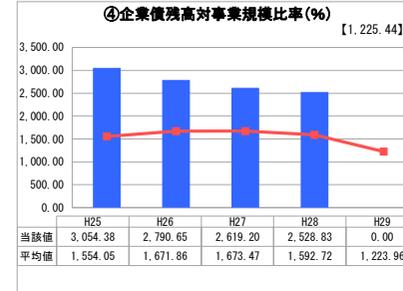
「単年度の収支」



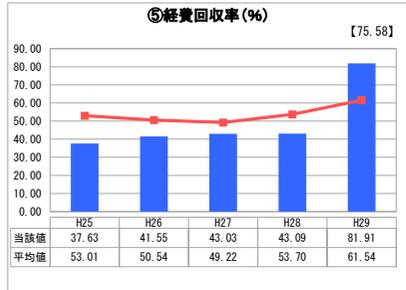
「累積欠損」



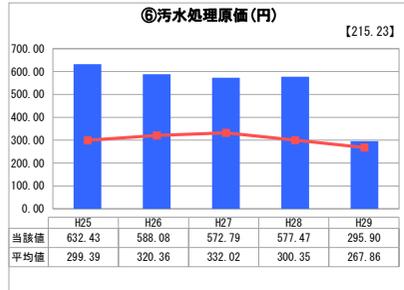
「支払能力」



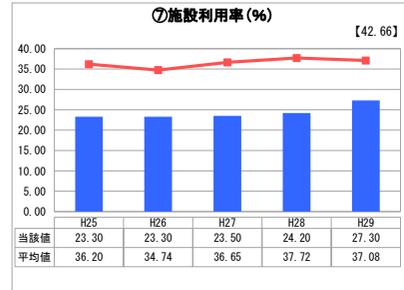
「債務残高」



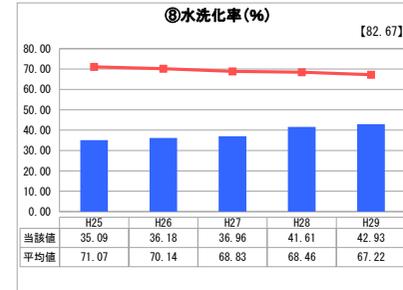
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

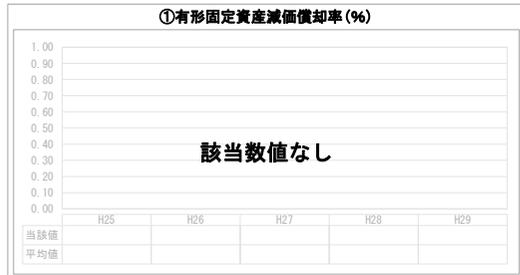


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

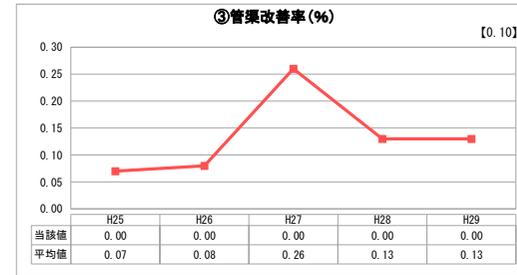
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

当町の下水道事業は、平成18年度に供用開始をしており、供用開始からの期間が短いため接続率が低く、水洗化率も低くなっています。したがって、施設利用率も低い状態です。  
平成29年度決算において一般会計繰入基準額を見直し精査したところ、基準内繰入額が増額しました。そのため、単年度収支では、総収入は一般会計からの繰入れ額によってほとんど賄われており、収益的収支比率が上がり黒字となりました。また、汚水処理費が少なく有収水量が増加したこと、汚水処理原価が低くなり、費用の効率性、経費回収率が上がりました。  
施設整備のための財源の一部である企業債借入残高は、繰入基準額の見直しにより、一般会計からの負担によってすべて賄われますが、今後も将来の利用者の負担を考慮し借入額が膨らまないように運営実態を把握し効率的な事業計画をすすめて参ります。

### 2. 老朽化の状況について

当町の施設は、供用開始から12年が経過しており、管渠は、現時点では問題ありませんが、終末処理場である浄化センターの設備等は、精密機械であり、使用頻度による摩耗、劣化等を調査して、長寿命化させるための改築更新計画の検討に努めて参ります。

### 全体総括

経営の健全性・効率性の向上を図るため、引き続き水洗化率（下水道接続人口）の増加に努め使用料収入の増額を図り、費用の効率化に努めます。  
平成28年度に策定した「軽米町下水道事業経営戦略」を基本に、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みながら、下水道の施設整備計画の推進に努めます。  
住民生活に不可欠な下水道事業について、持続可能な運営のために「経営状態の見える化」を目指し、公営企業会計移行の検討を進めて参ります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。